

中国地方都市の課題解決へ！日本の知識と経験を活かす 「自治体国際協力専門家派遣事業」を実施しています

北京事務所

クリアでは、中国の地方政府から要望のあった国際協力案件に的確に応え、技術指導や人材の育成等を行う「自治体国際協力専門家派遣事業」を 1998 年度から実施しています。この事業では、農業、林業、環境保全、土木、都市計画、医療、教育等の 32 分野からなる国際協力人材バンクに登録された日本の地方自治体職員（退職者を含む）を概ね 1 週間から 2 週間程度、要望のあった地方政府に派遣しています。

今年度までに、延べ 86 名の専門家を中国の各地方政府に派遣し、その指導内容は派遣受入機関から好評を得るとともに、指導する専門家にとっても貴重な体験となっています。また、これを契機とした日中地域間の交流の促進という成果もあげています。

今年度については、昨今の日中関係の影響に伴い事業実施について懸念されていましたが、5名の専門家を中国地方政府へ派遣することができました。

<2012 年度実績>

北京事務所において実施しました 5 件の派遣実績を紹介させていただきます（出発日時順、期間は国際往復時間を含む）。

派遣先	期間	分野	専門家
遼寧省丹東市	10月7日 ～13日	林業：水源林の経営・管理技術指導	兵庫県職員
山東省淄博市	10月14日 ～20日	畜産：豚の繁殖技術の向上と呼吸障害症の防止技術等	岐阜県 OB
山東省淄博市 沂源县	10月21日 ～28日	農業：果樹栽培における化学薬品の使用量を抑えた病害虫予防技術等	佐賀県職員
山東省徳州市 臨邑県	11月10日 ～15日	牧畜：家畜・家禽類の先進飼育技術及び疫病予防技術等	岩手県 OB
遼寧省遼陽市	11月25日 ～30日	農業：花卉（トルコギキョウ）の栽培技術指導	群馬県職員

■派遣案件 1

派遣先：遼寧省丹東市

期 間：10月7日-13日

分 野：【林業】水源林の経営・管理技術
指導

専 門 家：兵庫県職員 山瀬敬太郎氏

アテンド：阿部所長補佐

概 要： 丹東市は遼寧省の東部に位置し、

省の重要な水源林兼木材提供林区

であり、域内の生態環境の改善に取り組んでいます。水源涵養林の保護と管理のため、森林の種類に基づき、構造を最適化し、森林劣化の生態系回復及び成果評価をする必要があると考え、技術と管理の面で日本の経験を学びたいという要請により、兵庫県職員の方に指導にあたっていただきました。

現地林を視察した後、専門家からは、伐採における光の取り入れ方、苗木の育て方等についてアドバイスがあり、また各林業試験場担当者からは、植林密度や伐採スパンについての質問が相次ぎました。専門家は当地の光の取り入れ具合や土、水の性質を実際に確かめ、それぞれの試験林にあったアドバイスを行いました。

専門家によれば、日本と外国の植生は相当異なっているとのことであり、専門家からも現地での植林における考え方、伐採スパン、木材利用の方法、価格等様々な質問を行いました。



現地林を視察する山瀬専門家

■派遣案件 2

派遣先：山東省淄博市

期 間：10月14日-20日

分 野：【畜産業】豚の繁殖技術の向上と呼吸障害症の防止技術等

専 門 家：岐阜県 OB 今枝紀明氏

アテンド：竹中所長補佐

概 要： 豚繁殖と呼吸障害症の防止とコントロールについて、日本の技術等を紹介して欲しいとの要望を受け、岐阜県 OB の方に指導にあたっていただきました。

派遣期間中、7か所の養豚施設を視察いただき各施設での飼育状



養豚関係者と意見交換をする今枝専門家

況の問題点や各施設で問題となっている事項についての解決策などのアドバイスをいただきました。

また、日本の養豚基本状況（養豚方法、疾病対策、出生率、分娩率、国・地方政府の養豚場への関与等）、分娩率及び出荷率の向上方法、冬～春に地元で発生している病気及びその対策、日本の最新の養豚技術、病気の予防対策等について紹介するとともに、養豚関係者の方々と意見交換を行いました。

■派遣案件 3

派遣先：山東省淄博市沂源县

期 間：10月21日-28日

分 野：【農業】果樹栽培における化学薬品の使用量を抑えた病虫害予防技術等

専 門 家：佐賀県職員 井手洋一氏

アテンド：水越所長補佐

概 要： 山東省淄博市沂源县の果樹栽培において、果樹園の病虫害駆除に対し大量の化学農薬を使用することなく、限られた予算と技術のなかで、果物の安全対策について日本の技術を学びたい旨の要望を受け、佐賀県職員の方に指導にあたっていただきました。



果樹園を視察する井手専門家

リンゴ園の視察を行ったほか、農民への講義を実施しました。現地で栽培されているリンゴの多くの品種は「ふじ」であり、日本のような真っ赤なリンゴは、ほとんどありませんでした。リンゴ園の視察では、専門家が、実際にリンゴの苗木の状況を確認し、県のセンターの職員や農民に、リンゴ園で問題となっている病気や農薬の散布量等の指導を行いました。

また、講義においては主に「日本におけるリンゴ栽培方法について」、「リンゴに袋をかけて栽培する場合の注意点」、「病気に効果のある農薬の紹介」、「農薬散布車導入の提案」、「病虫害防除における農薬を使用しない方法（メスのフェロモンを出す資材を使用し、病虫害の数を減少）の紹介」、「有機栽培を行う場合の注意点」などを紹介されました。農民の皆さんからの質問は、農薬の使用に関するものがほとんどでした。

専門家からは、中国の場合、リンゴの苗木の間隔が狭く、これが病虫害の大きな原因の1つであり、本来は、間隔を広くすれば現状(病虫害の被害)は大幅に改善される。ただ、中国の土地制度では、農地を簡単に広げるこ

とが難しいので、農薬使用で予防していくのが現実的な方法である。また、山東省は気候条件の面で果樹栽培に適しており、土地も非常に良質なので、逆に羨ましい（日本は雨が多いので、苦勞する点多いとのこと）などの意見をいただきました。

■派遣案件 4

派遣先：山東省徳州市臨邑県

期 間：11 月 10 日-15 日

分 野：【牧畜業】家畜・家禽類の先進飼育技術及び疫病予防技術等

専 門 家：岩手県 OB 杉若輝夫氏

アテンド：広瀬所長補佐

概 要： 乳牛の乳房炎を防ぎ生産性を高めるため、先進的な養殖、疫病防止抑制技術を教えてほしいとの要望を受け、岩手県 OB の方に指導にあたっていただきました。

専門家は、まず現地視察を行い、牛場が抱えている問題の乳房炎の原因は飼育環境にあることを指摘しました。

フリーバーン方法による牧畜を行っているが、乳牛が休憩する場所の環境が悪く、乾いた床で休憩することが大切であり、乳牛が横になるスペースにもっと屋根を設け、床の状態を改善する必要があることを指摘されました。また、飼料の配合等には問題なく、比較的良好な餌であるが、飼料の保管方法に多少の問題があり、改善点等をアドバイスされました。

経営者、技術者との意見交換会では、これまでの日本の乳牛管理の歴史、乳房炎等疫病予防等を紹介、意見交換を行いました。出席者の中からは、日本での乳牛の休憩場所はどうなっているのか、雨が降った後は中国の牧場と同様な状態になるのではないかと、など多数の意見がありました。



牛の飼料を確認する杉若専門家

■派遣案件 5

派遣先：遼寧省遼陽市

期 間：11 月 25 日-30 日

分 野：【農業】花卉（トルコギキョウ）の栽培技術指導

専 門 家：群馬県職員 高橋厚氏

アテンド：竹中所長補佐

概要：トルコギキョウの成長、環境技術、肥料、基質（栽培メディアム）作成、病害虫予防と治療、房状化防止技術、品種育成、種の粒化技術などについての、指導をしてほしいとの要望を受け、群馬県職員の方に指導にあたっていただきました。



技術者と意見交換をする高橋専門家

現地視察を行った後、技術者との意見交換を行いました。技術者からは「トルコギキョウの移植はいつ頃すればよいのか」、「日本の場合、トルコギキョウの土の pH はどのくらいか」等、多くの質問がありました。また専門家からは、「5000lx 以上の光が必要だが、ハウス内の片側が壁であるため、光が不十分ではないか」、「一番花を摘んだ後、二番花の成長が止まっているのは、夏に暑すぎたためではないか。温度は 30 度以上にしないこと」、「根がこのくらいまで伸びたら液肥をあげる」といった栽培に対するアドバイスを行われました。

北京事務所では、2013 年度も引き続き専門家派遣事業を実施する予定で、今年 3 月を目途に中国の地方政府に対して派遣要望の聴取を行い、日本国内の自治体の専門家とのマッチングを進めていく予定をしております。日本の自治体ならびに中国の地方政府におかれましては、引き続き日中地方政府間の国際協力活動の推進にご協力をよろしくお願いいたします。

(広瀬所長補佐 島根県松江市派遣)